

青森県視覚障害者情報センター
令和5年度奉仕員アンケート集計結果

昨年実施したアンケートについて、送付数216名に対して156名の方からご回答いただきました（回答率72.2%）。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

集計結果は、以下のとおりです。皆様の貴重なご意見を、今後の情報センターの運営に反映していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

※（ ）内の数字は割合（%）

1 アンケート結果

問1 あなたについてお聞きします

(1) 性別 ①男 12人(7.7) ②女 144人(92.3)

(2) 年齢

①19歳以下 0人(0) ②20代 0人(0)
③30代 2人(1.3) ④40代 2人(1.3)
⑤50代 14人(9) ⑥60代 61人(39.1)
⑦70歳以上 77人(49.4)

(3) 職業

①公務員 1人(0.6) ②会社員 3人(1.9)
③団体職員 4人(2.6) ④自営 3人(1.9)
⑤パート・アルバイト 19人(12.2) ⑥学生 0人(0)
⑦無職 126人(80.8)

(4) 居住地

- ①青森市 48人(30.8) ②青森市以外の市 90人(57.7)
③県内の町村 10人(6.4) ④県外 8人(5.1)

(5) 来館目的

- ①図書閲覧・貸出 0人(0) ②養成研修 28人(34.6)
③施設利用 1人(1.2) ④見学 0人(0)
⑤その他 52人(64.2)

問2 視覚障害者情報センターの管理・運営について

- ※5 大変満足 4 やや満足 3 普通 2 やや不満
1 大変不満

(1) 開館日や開館時間について

- 5 25人(20.7) 4 12人(9.9) 3 81人(66.9)
2 3人(2.5) 1 0人(0)

(2) センターの清潔さについて

- 5 26人(32.9) 4 18人(22.8) 3 35人(44.3)
2 0人(0) 1 0人(0)

(3) 職員・スタッフの対応について

- 5 85人(61.6) 4 26人(18.8) 3 26人(18.8)
2 0人(0) 1 1人(0.7)

(4) 奉仕員研修会について

- 5 41人(38.3) 4 36人(33.6) 3 26人(24.3)
2 4人(3.7) 1 0人(0)

(5) 奉仕員だよりについて

5 49人(33.3) 4 48人(32.7) 3 50人(34)
2 0人(0) 1 0人(0)

(6) ふれあいの集いについて

5 6人(16.7) 4 15人(41.7) 3 13人(36.1)
2 1人(5.6) 1 0人(0)

(7) センター全体の満足度について

5 45人(33.8) 4 59人(36.8) 3 39人(29.3)
2 0人(0) 1 0人(0)

2 ご意見より

(1) 奉仕員研修会について

点訳音訳等、日々の奉仕活動に感謝申し上げます。製作上の疑問などについては、日頃より電話、メールなどでお気軽にご相談ください。

昨年度「時間が少ない」という意見があり、昼食をはさんで行うなど調整しましたが、やはり時間が少ないという意見がありました。また、質疑応答の時間が足りない、フリートークの時間が欲しい、校正者の話を聞く場があればいい、音訳では講師を変えてほしいという具体的なお要望もいただきましたので、それらを踏まえて研修会の内容を充実させるよう検討してまいります。

(2) 奉仕員だよりについて

参考になる、励みになる等のご感想をいただきありがとうございます。

「新規登録者の全体写真を入れてほしい」というご要望がありましたが、講習会を受けた方全員が認定されない場合があり、行っていないのが現状です。その代わりに、研修会の様子などを写真でお伝えできればと考えております。

「マンネリ化している」というご意見もありましたので、お寄せいただいたご意見・ご要望を参考に、今後とも誌面の充実に努めてまいります。

(3) ふれあいの集いについて

ふれあいの集いは、利用者・奉仕員・職員の三者が集い、交流を深める目的で毎年開催しております。令和5年度は、コロナ禍以前の昼食をとっての通常開催の形で行いました。

参加者より「利用者の声を聞くことができてよい」というご感想が多くみられましたが、「見ず知らずの方と話すのが不慣れで難しい」という声もありました。「自分の席から動けない」、「もっと参加者同士が交流しやすい体制を工夫してほしい」というご意見もありました。これらを参考に、三者が交流を深めることができるよう検討してまいります。

(4) センターの広報、奉仕員養成について

「マスコミを活用して積極的なセンターのPRを」というご意見をいただきました。センターでは点訳・音訳奉仕員養成講習会を毎年開催していますが、開催地域の地元紙、広報紙に周知依頼を、また、図書館や市民センターなどにポスター掲示依頼を行っております。今年度は5月に東奥日報紙にとりあげていただき、反響がありました。今後とも様々な報道機関などの協力を得ながら点訳・音訳の活動のPRに努めてまいります。皆様の周りに、点訳・音訳の活動に興味がある方がいらっしゃいましたら、お声がけをお願いいたします。

他に「県内の盲学校との交流事業があっても良いのではないか」というご意見をいただきました。盲学校との連携として年に2回盲学校主催の愛・Eye ライブラリーにセンターから職員を派遣しております。今後は、交流に視点をおいた事業についても検討してまいります。

また「奉仕員養成講習会をオンラインで開催すれば、遠方の受講希望者の掘り起こしになるのではないか」というご意見をいただきました。点訳は、通信でも受講が可能ですが、音訳は発声や機器操作の講習の必要性から対面が原則となっているのが現状です。オンライン受講については慎重に検討してまいり

ます。

(5) 奉仕員同士、または職員と奉仕員の交流について

「センター職員と奉仕員、または奉仕員同士の交流があればよい」というご要望がありました。

また、「青森市以外に住む奉仕員との連携を図る目的で、Zoom などのリモート会議の活用を検討してみるなどはいかがでしょうか」という具体的なご意見もありました。Zoom による研修会参加は、コロナ禍の際に試験的に行いましたが、今後も希望者の要望に応じて対応できるよう検討してまいります。